

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年1月12日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年1月7日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	フランス
留学先大学	リールカトリック大学(日本語名) Universite Catholique de Lille (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/英語
留学期間	2025年8月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ISTC, ESPOL  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 1月上旬～5月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 40000 人
創立年	1875 年

<b>留学費用</b>			
留学費用項目	A 現地通貨 (€) (1 現地通貨 = 184 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	507×5	円	
食費	1500	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	10×5	円	
現地交通費		円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	約 3000	円	
被服費	50	円	
医療費		円	
保険費	59	46760 円	形態: 明治大学、住宅保険
渡航旅費		170000 円	
ビザ申請費	100	15600 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b> <b>※現地通貨 および 円</b>	7294 (=1341495 円)	232360 円	
<b>総計(A+B)</b> <b>※円</b>		1573855 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：パリ 経由地：台湾

復路 出発地：パリ 目的地：成田 経由地：台湾

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：エバー航空 料金：70000

復路 航空会社：エバー航空 料金：100000 ∴合計：170000

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名： )

インターネット(サイト名： trip.com)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Valentine)     アパート     ホームステイ

2) 部屋の形態

個室     相部屋(同居人数 )

3) 共有部分

バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学から送られてくるサイトから探した

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学から近いので学校に行くのにはとても便利で平日は毎日掃除してくれるレディーがいるので最低限のきれいさは保たれているが週末はキッチンなどが汚くなるが多かった。また、何回注意されても夜中にうるさくしてくる人がいて私の会はそこまでの被害はなかったが本当に困っている人もいた。大学にも朝食にも近いのが良くて最低限そろって比較的low価格を求めている人にはお勧めする。

## 現地情報

<p>1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。 (例: 現地の病院、学内の診療所)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>なし <input type="checkbox"/>あり (治療を受けた場所: )</p>
<p>2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>なし <input type="checkbox"/>あり (問題の内容や相談した人等: )</p>
<p>3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</p> <p>なし</p>
<p>4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>量でのwifiが11月後半ごろからつながらなくなり面倒だった。しかし、freeでの契約は1か月に120ギガ使えるため常に5Gにしているでも大丈夫だった。VPNをつなげられないことくらいが難点。</p>
<p>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>クレジットカードを3枚使用</p>
<p>6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。</p> <p>値段を気にしなければ何でもそろいます</p>
<p>7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。 (例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</p>

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Literature and trauma		文学とトラウマ
科目設置学部・研究科	ESPOL	
履修期間	秋	
単位数		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		
授業内容	毎授業一つ文章を読んでそれについて話し合う。	
試験・課題等	プレゼン 1 回 最終レポート	
感想を自由記入	プレゼンとレポートのためにそれぞれ異なる本を 1 冊読んでやることになるのでとても大変だったが教授はとてもやさしかった	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
EU and Europe	
科目設置学部・研究科	ESPOL
履修期間	秋
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	教授がスライドを利用してひたすらEU日て基礎から説明していくもの
試験・課題等	中間と期末 中間派選択式で期末は記述
感想を自由記入	基礎的な内容であり出欠も取らないため来なくなる生徒も多かった。説明をずっとされるので少し集中するのが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Survey Reserch	社会調査
科目設置学部・研究科	ESPOL
履修期間	秋
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	毎週事前に一つ論文を読んできてその内容を軽く確認した後にその方法を実際に使用する方法について考える。
試験・課題等	
感想を自由記入	論文は週によって長さは違ったがしっかり時間をとって読めば理解はしやすいものだった。しかし授業で生徒同士で議論するために内容を十分に理解して意見を出せるようにすることが必要で大変ではあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Negotiation	交渉
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	短期集中型授業であるため最初の1週間に4時間が5回ほどで終わった。ビジネスのシーンで交渉するにはどのようにすればよいのかを実戦形式で学ぶ
試験・課題等	団体交渉と1対1での交渉
感想を自由記入	ケーススタディで学んでいく実戦形式であったため英語力が求められとても大変だった。全然発言することが出来ず一番悔しい授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International market studies	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	これも短期集中型 基本用語やマーケットの調査方法などを学んで実際に進出するにはどのようにすればよいかをグループごとに考える
試験・課題等	プレゼン
感想を自由記入	実際に質問を作って身近な人にこたえてもらってどうすればよいかを考えたりし、実践型なのでよかった。また、たくさんの人と話す機会があり良かった

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	
授業内容	文化の違いだったりそれがどうして形成されるのかどのように受け入れるのかなど
試験・課題等	プレゼン2回 written exam
感想を自由記入	先生がとても留学生に親身になってくれて授業以外でも助けてくれたり、他の人と交流する機会を与えてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Writing and speaking	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	
授業内容	ビジネスで使うような単語を学んでビジネスの場面を想像したケーススタディ
試験・課題等	中間と期末の written exam とプレゼン数回
感想を自由記入	私以外みんながフランス人の授業で先生は英語を使えというものの生徒だけの議論になるとフランス語で話されてしまうことが多く入り込むのが難しかった

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Understanding cinema	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	
授業内容	映画について 制作方法から内容まで
試験・課題等	最終レポート
感想を自由記入	最終レポートさえかけばよくスライドはアップロードされているため集中して聞いている生徒はあさなかったと感じられる

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French as a foreign language	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	
授業内容	フランス語の基本
試験・課題等	最終試験
感想を自由記入	本当に1からフランス語を学ぶ。実際に使うものを中心に文法などを学ぶというよりは発音だったり挨拶を学べたのでよかった

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Press Review	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	
授業内容	毎週3人くらいがその週のニュースについて発表しその内容について話し合う
試験・課題等	プレゼン、個人発表
感想を自由記入	これも私一人が留学生で入るのが大変だった。また、そのニュースを知らないと何も入れないので毎週そのニュースがどんなことについてなのかを頭に入れておくことが重要だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English talk	
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	
授業内容	とにかくはなす
試験・課題等	なし
感想を自由記入	楽しく英語を使う授業で英語ができる留学生にとってはつまらなそうだった。席がどうしてもフランス人と留学生に分かれてしまい先生が片方と話しているときもう片方はただ私語をしているような感じだったが英語を使う機会にはなった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	申し込み
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザなどの提出書類準備、航空券購入
	8月～9月	渡航、留学スタート
	10月～12月	授業
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は特別フランスを選んだというよりはヨーロッパに留学したいという気持ちがありその中で条件（英語の資格や時期）があった学校であったのと友達の友達がここに前年行っており良かったときいていたのでここに決めた。大学があるリールという町は比較的大きな町でありフランスを移動するかなめになる TGV の駅が二つあるだけでなく FLIXBUS も止まるため、ヨーロッパを周遊したいという目的もあった私にはぴったりの町であった。やはりヨーロッパに留学するメリットは旅行をしやすいという面ではあるが、学業をおろそかにしてはいけないので平日は学業、土日は旅行。そのために平日に課題も終わらせていた。

留學中円安が進んだことによりすべてのことにかかる費用が高くなり節約がすごい求められた。節約にはパスタが一番。レストランはほとんど行かず、留學生同士などで食べる時もみんなで各国の料理を作るなどをした。

リールは安全な町であったため、もし友達の寮や家での帰りがおそくなってしまってもそこまで心配はいらなかった。優しい人が多くたくさんの友達（いろいろな国籍）を作ることが出来た。

寮でのトラブルが私は一番ストレスだったが基本対応はしてもらえるためすぐに伝えることが重要。また、CAF だったり保険がうまくいかなかったり、時間がかかったり何かが原因で審査が通らないのかが友人と比較してもわからずと答えがないような気がしたがあきらめないことが大切。

留學半年を通して後悔はなく日本にいたら経験できなかったようなことが出来ただけでなくいろいろな面で成長できたと思うので留學というだけでも一つの挑戦ではあると思うが留學中もとにかく挑戦を続けることでより充実したものになるなと感じた。